

1. 令和元年度決算について

7月6日に開催されたキッコーマン健康保険組合で令和元年度決算が承認されました。

●一般勘定

令和元年度当期収支は約89百万円の赤字でした。料率改定及び助成金による収入増があったが、前期高齢者納付金の支出が多額であったため赤字となった。赤字は、前期繰越金および別途積立金からの繰入金で賄った。

	(百万円)	予算比	前期比
当期収入	2,110	109%	118%
当期支出	2,198	99%	118%
当期収支	-89		

●介護勘定

令和元年度当期収支は約21百万円の赤字でした。

保険料収入以上に納付金負担を求められたため、赤字となった。

赤字は、前期繰越金および準備金からの繰入金で賄った。

	(百万円)	予算比	前期比
当期収入	195	101%	102%
当期支出	216	100%	114%
当期収支	-21		

2. 今後の財政見通し

		一般勘定	介護勘定	(百万円)
令和2年度(予算)	経常収入	1,960	196	
	経常支出	1,821	240	
	経常収支	139	-44	

一般勘定: 当健保の前期高齢者の医療費が減少傾向にあるため、納付金が減少。(※1)

その結果、令和2年度および令和3年度は経常黒字となる見通しです。

※1 前期高齢者納付金は、当健保加入の前期高齢者(65歳~74歳)の健保給付費に約7倍を乗じた額となる。

介護勘定: 日本の介護保険給付額増加の影響と、報酬割制度導入で、当健保が求められる納付金負担が

年々増えてきた。今後は、ますます介護保険受給人口が増えるため、納付金が増大します。

これまでは、準備金を取り崩し対応できましたが、今後は料率改定が必至となっています。

3. 当健保は、「加入者の生活習慣の改善(生活習慣病予防・改善)」「被扶養者の健診受診」に取り組んでいます!

生活習慣病の重症者やリスク者を減らすため、「治療受診勧奨」「特定保健指導」や

「エクササイズキャンペーン」を行っています。

また、被扶養者の健診については、「キッコーマン被扶養者健診制度」や「人間ドック」を勧めています。

<最後に>

皆様が高齢になられても健康な生活が送れるように、

病気の早期発見・早期治療に取り組んでいただくようお願いいたします。

生活習慣病、がんは、早期治療で重症化を防げる可能性があります。



以上